

令和元年度第1回八千代市廃棄物減量等推進審議会会議録

日 時：令和元年12月13日（金）

10:00～11:45

場 所：八千代市役所 別館 第1・第2会議室

1 議題

- (1) 八千代市一般廃棄物処理施設整備に関する方針について
- (2) 八千代市一般廃棄物処理基本計画の評価について
- (3) 令和元年度の取組みについて
- (4) その他

2 出席者（◎は会長）

（委員） ◎斉 藤 崇	前 田 智 恵
日 浦 博 昭	土 屋 信 之
新 井 善 久	米 澤 伸 一
竹 花 富 美 子	早 野 雅 俊
会 田 悦 子	安 福 久 子
小 森 茂 男	

（事務局）

経済環境部長	豊 田 和 男
経済環境部次長	糟 谷 龍 郎
クリーン推進課長	斉 藤 仁
クリーン推進課副主幹	中 山 賢 司
クリーン推進課主査	折 笠 厚 志
クリーン推進課主査	平 田 武 樹
クリーン推進課主任主事	小 川 壽 史
クリーン推進課主任主事	久 保 出 勇 輝
クリーン推進課主任主事	岩 永 裕
クリーン推進課主事	吉 永 里 紗
清掃センター所長	横 田 智 久
清掃センター副主幹	河 原 成 宜
清掃センター主任技師	坂 爪 俊

- 3 公開又は非公開の別 公開
- 4 傍聴人数 0名（定員8名）
- 5 議事

課 長 定刻となりました。委員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。会議に先立ちまして、会議の説明をいたします。本審議会は、「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領第4条」の規定により、会議を公開といたします。また、会議録等の情報公開請求がなされた場合は、公開することとなりますので、ご了承ください。また、会議録につきましては、要点筆記方式とさせていただきます。なお、会議録を作成する都合上、会議の状況を録音させていただきますので、ご了承ください。

議題に入る前に配布資料の確認をさせていただきます。

(配布資料確認)

次に、職員のご紹介をさせていただきます。進行の都合上、新たに担当となった者のみのご紹介とさせていただきます。はじめに、本年度より新たに経済環境部長となりました糟谷でございます。次に、クリーン推進課ごみ減量推進班の折笠でございます。次に、私クリーン推進課長の斎藤でございます。

なお、本市の組織改正に伴い、本年度から以前の安全環境部から経済環境部へ名称が変更となりました。また、クリーン推進課においても班名称の変更がありました。以前のクリーン班から計画調整班へ、リサイクル班からごみ減量推進班へと名称が変わりましたので、ここでお知らせいたします。

会議の前の説明及び職員の紹介は以上でございます。

以後の議事進行につきましては、「八千代市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第4条1項」において、「審議会の会議は、会長が招集し、会長が会議の議長となる」ことから、斎藤会長、議事進行をお願いいたします。

会 長 それでは、皆様よろしくお願いたします。まずは委員の出席状況についてご報告いたします。出席委員数は11名であり、「八千代市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第4条2項」の規定により、半数以上の委員が出席されていますので、定足数に達しております。これより、令和元年度第1回八千代市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。

次第に従いまして、本日は4つの議題がありますが、まずは議題1「八千代市一般廃棄物処理施設整備に関する方針について」です。それでは、事務局より説明をお願いいたします。

課長 基本構想の策定につきましては、平成30年度第2回の審議会でもお伝えいたしましたが、この基本構想を策定する目的を、改めてご説明させていただきます。本市は、焼却処理施設、粗大ごみ処理施設、最終処分場浸出水処理施設、また、し尿処理施設の処理施設を保有しております。焼却処理施設につきましては、二酸化炭素排出量の削減や老朽化対策等のために平成26年度から平成28年度に掛けて基幹的設備等改良工事を行い、15年ほどの延命が図られたところでございます。一方、粗大ごみ処理施設やし尿処理施設は、修繕などを適時行っておりますが、昭和の時代からの施設であり、老朽化しており、抜本的な整備等の必要性があります。施設を新たに整備する場合、または、大規模改修におきましても、多くの時間や費用を要することから、長期的な視点で計画的に整備を進めていく必要があります。このようなことから、焼却処理施設の延命化が図られたばかりでございますが、平成30年度に本市の一般廃棄物処理施設整備の基本構想を策定し、今後の整備に対する方針を決定いたしたく、この内容の詳細について担当よりご説明いたします。

〔平田主査による説明〕

会長 ありがとうございます。かなり詳しい情報を説明していただきましたが、何かご質問等がありますか？

日浦委員 焼却処理施設の基幹的設備改良事業では、焼却炉の停止期間はどの程度のものでしょうか。停止期間中のごみ処理委託費は含まれていますか。また、処理委託先の確保はされているのでしょうか。

小川主任主事 本市は1・2号炉、3号炉の3炉で構成しておりますので、平成26年度から平成28年度に実施した基幹的設備では1炉ずつローテーションを組んで、整備しました。外部処理委託費として約10億円を想定しており、構想上の概算費用には外部処理委託費は含まれておりません。

竹花委員 私が住んでいるのは上高野原で、住み始めたころは200人ほどでしたが、現在は1万人ほどいますが、その1万人に対し、災害時の避難所が整備されていません。構想上では「地域の防災施設としての機能」の記載がありますが、地域の避難所の役割を付加していただきたいと思います。高齢化が進んでいて、村上東小学校までは歩けない方が多いです。私自身80歳を迎えますが、そういった方が非常に多いことや、子育て世帯も入ってきており、小さなお子さんも増えてきているため、地域の避難所として機能すれば、安心して生活できます。

豊田部長 避難所の関係につきましては、台風15号、19号、10月29日の大雨があったことや、避難所そのものが老朽化しております。また、委員のおっしゃるとおり、現在上高野地区に避難所はありません。避難所については市全体で総合的に検討はしていますが、焼却処理施設について、新しい機能として発電機能を持たせれば、停電時に自家発電になります。その機能を含めて、このご意見を参考に今後市全体として考えてまいります。

会 長 環境負荷等の見えないコストの部分が多くあり、そのようなコストが含まれているかないのか、パブリックコメントに出すにあたって、その数字が明確でないと、財政的に優位であるかないかの判断がしづらいのではないかと思います。

課 長 12ページの数字につきましては、実勢価格の平均価格であるため、一般的に環境負荷に対する事業が含まれていると判断しておりますが、パブリックコメントを実施するにあたり、頂いたご意見が出てくることも想定して、中身を整理します。環境的な要素がどの程度含まれるものなのか、わかることであれば、示していきたいと思えます。

外部処理委託について、基幹的設備改良事業では焼却炉を止めて整備を行いますが、新施設整備も現在の敷地内に建てられるのであれば、部分的に稼働させながら、その他の部分について外部処理委託します。新用地であれば、現在の施設を稼働させながら建設ができると考えていますが、用地確保の金額と外部処理委託費を比較しますと、用地購入の方が高くなる場合もあると考えています。

新井委員 基幹的設備改良事業では財政的なメリットがありますが、10年から15年くらいしかもたないと思われれます。いずれは新施設を建てなければならず、一時的な支出は抑えられても、将来的な部分が多く、工事費も変わってくるものだと思うので、検討しづらいことと思えます。本編の111ページに焼却施設の供用年数が20年から25年で示されており、今回15年プラスされていますが、1・2号炉は平成元年に竣工しているので、限界かなと感じます。その点も踏まえないと財政的なメリットが見えない気がします。15年先の技術も変わっていると思えますが、現在の技術をベースにするしかないと思えます。

課 長 現在は15年後のもので検討しております。焼却処理施設は長いスパンで考えなければならぬので、基幹整備を行っているときに、次期整備について考え方を示し、同時並行で行うことを考えております。本来であれば平成26年度の基幹改良時にこのような議論をし、検討している必要があったと考えますが、現在は12年先の話としております。30年、45年の状況が計算できるかどうかについて検討し、可能であれば記載したいと考えます。

前田委員 焼却処理施設の概算金額が大きすぎて、素人にはイメージができません。近隣の市町村で同規模の施設の金額を示していただけると比較でき、この規模ならこのくらいかかっても仕方がないといった検討も可能となります。近隣市町村の状況も示していただけると助かります。

課 長 基幹的設備改良事業では近隣市の状況について記載していますが、新施設整備については、規模と契約金額から1 t／日あたりの単価を算出しており、可能であればお示ししたいと考えております。

会 長 それでは次に、議題2「平成30年度八千代市一般廃棄物処理基本計画の評価について」です。それでは、事務局より説明をお願いいたします。

課 長 平成30年度のごみ排出量は、市民・事業者のご協力により、前年比で約418 tの減少となりました。本日は皆様に30年度のごみ量の詳細、そして本市の一般廃棄物処理基本計画に基づく施策等の評価につきまして、ご報告させていただき、ご意見を頂戴いたしたく、議題とさせていただきます。それでは、担当よりご説明申し上げます。

〔平田主査による説明〕

会 長 ありがとうございます。一般廃棄物処理基本計画に基づく7つの目標についての状況とその評価、次に向けての課題の話、また、最後に平成30年度の取り組みについて説明頂いたところですが、何かご質問等がありますか。

〔挙手する委員なし〕

会 長 八千代市は人口増となっている中で、排出量全体が減少してきているのは、市民の方の協力の結果ではないかと考えますが、最終処分量が減少していないのはなぜでしょうか。

所 長 再資源化を図り、前年度まで約1,800 tだったものを今年度から約2,400 tにすることで、最終処分量を減らすことを目標にしています。

小森委員 最終処分量は、あと20年くらいだと思われませんが。

所 長 計画では16年ぐらいでしたが、再資源化を図ることで、あと30年ぐらいまで埋め立てができると考えております。

- 小森委員 減量の方法によっては、溶融方式や現在の場合等、炉の選定にも関わってくると思います。また、資源化やその他路材にするなどの方法もあるかと思います。しかしながら、どれも延命措置だと思われる。その後はどのように考えているのでしょうか。外部処理するなど、何か方向付けはしているのでしょうか。
- 所 長 今後、計画を検討していきたいと考えております。今現在外に搬出している状況もありますが、新たな土地を使用していくのかを検討していきたいと考えております。
- 課 長 最終処分場についても、埋め立て完了の10年前には次の方針を作成するとしておりますので、今の意見を伺い、浸出水処理施設も含め盛り込めるのか検討していきたいと考えています。
- 日浦委員 資料の3ページに最終処分量の実績値が記載されていますが、平成26～28年度は約2,000tと変動が大きいですが、この要因はどういったもののでしょうか。
- 所 長 平成26～28年度に基幹的改良整備を行い、その間外部処理を行ったことが要因です。
- 新井委員 家庭系ごみは人口と比例して減少していることが一人当たり単価でわかりやすいものとなっておりますが、事業系ごみ排出量は未達成になっています。事業系ごみの目標値はどのように組み立てているのでしょうか。事業者が増えればごみは増えると思いますが。
- 課 長 事業系のごみについては、事業系の排出量の実績に基づき、厚労省の推計式を利用し、目標値を設定しております。現状事業系ごみは増加しており、達成はしていませんが、本年度から多量排出事業者への立ち入り調査を1～2月にかけて行っていく計画を立てております。
- 新井委員 過去の経緯、過去のデータから目標値を組み立てているのであれば、「達成・未達」という表現は資料としては適切ではないと考えます。
- 課 長 ご意見をいただいたので、設定した当時の状況、目標の設定値、現在の状況等の差異についてもわかるように記載していきます。
- 会 長 それでは次に、議題3「令和元年度の取り組みについて」です。それでは、事務局より説明をお願いいたします。
- 課 長 本年度の取り組みについて報告させていただき、それについて意見等を頂戴したいと考えております。それでは、担当よりご説明申し上げます。

〔平田主査による説明〕

会 長 ありがとうございます。令和元年度の取り組みについて説明頂いたところですが、何かご質問等がありますか。

〔挙手する委員なし〕

会 長 処理手数料の改定について、問い合わせなどはなかったのでしょうか。

課 長 周知等を十分に行ったところもあり、料金改定の関係でクレームや特に大きな問題等は発生しておりません。現在は粗大ごみの従量制について周知を行っているところです。清掃センター内の経路等についても打合せを十分に行い、1月の開始に向けて備えております。実際に開始すると意見をいただくことがあると想定しておりますが、市としては従量制になることでスムーズな搬入が可能となると考えております。粗大ごみ受付については、600円から900円になる品物についての一覧を作成する等、事前調整を行っております。

会 長 昨今海洋プラスチック等などが話題になっており、レジ袋の有料化をどのようにするかなど、議論が進んでいるかと思いますが、八千代市でプラスチック削減に向けた取り組みやキャンペーンを行う予定はありますか。

課 長 プラスチックごみの減量については引き続き啓発に努め、市内にある店舗等での拠点回収場所の増加を含めて協力を依頼していきたいと考えております。また、新たに国等から施策について市へ情報があれば、情報を見ながら拡充、実施していきたいと考えております。

会 長 それでは最後、議題4「その他」ですが、事務局から何かあればお願いします。

課 長 今年度発生した台風第15号、第19号及び10月25日の大雨災害で発生した災害廃棄物への対応について、担当よりご説明させていただきます。

〔平田主査による説明〕

会 長 ありがとうございます。災害廃棄物への対応について説明頂いたところですが、何かご質問等がありますか。

〔挙手する委員なし〕

会 長 以上で本日の議題については終了となりますが、全体を通してご意見・ご質問等ありませんでしょうか。

[挙手する委員なし]

(各委員の主な意見・質疑応答)

(主な意見)

【ごみ量の資料について】

会 長 資源量の表現については、ごみ量が減れば資源量が増えていくので、資源化率のほうが良いと思います。

(質疑応答)

【災害廃棄物について】

新井委員 大量の災害廃棄物が発生した場合の対応についての考え方を教えてください。

課 長 災害廃棄物については、報道等では、道路上に搬出等行っているところも見受けられますが、大量に発生した場合にそのような搬出を行うと、その後の分別・処理に時間がかかることから、市内に仮置場を設置し、そこへ搬入してもらう予定です。

今回、茂原市に職員派遣を行いましたので、そこでのノウハウも今後の対応に生かしていきたいと考えています。また、平成23年度に八千代市災害廃棄物処理計画を策定し、本年度の見直しを計画しておりますが、素案を作成し、来年度の台風の時期である7月を目途に策定したいと考えております。

会 長 他ご質問ありませんでしょうか。

[挙手する委員なし]

会 長 本日の議題は以上となります。

長時間にわたり、ご意見いただきありがとうございました。

第2回の審議会は令和2年3月下旬頃を予定しております。詳細については、日程が近くなりましたら、事務局より連絡がありますのでご確認ください。

以上で、本日の八千代市廃棄物減量等推進審議会は閉会といたします。